



# 図書館だより

令和2年4月/5月

広尾学園中学校・高等学校 図書館

司書教諭 曾我部

## ★ Scool e\_Library (電子書籍サービス)

新型コロナウイルスの影響で学校や公共の図書館が利用できない状況が続いています。広尾学園図書館でもいろいろ模索する中、みなさんの読書環境を守っていくための試みとして「Scool e\_Library」という電子書籍サービスを取り入れてみることにしました。

スクールイーライブラリーは学校教科書や教材を中心に事業を行っている教科書供給会社の融資企業が集まって開発した小中高等学校向けの電子書籍サービスです。近年子供たちの読解力や表現力の低下が問われている中、読書する機会を増やすこと、読書したくなる機会を増やすことを目的としています。同企画に賛同した8出版社(岩波書店・偕成社・学研プラス・河出書房新社・講談社・集英社・フレーベル館・ポプラ社)から常時少しずつ入れ替わる1000冊の本が提供されていて、いつでも好きなときに本を読むことができます。

今回1ヵ月無料のアカウントを全校生徒分発行していただきましたので、家にいる時間が長いこの時期にぜひ電子書籍を活用してみてください。すでにkindleや青空文庫を利用している人もいますが、「Scool e\_Library」は中学生向き・高校生向きの本をジャンル別に幅広く取り揃えてあります。普段は小説ばかり読んでいる人もこの機会に新書や学術系の本にも目を向けてみてください。新鮮な出会いがあるかもしれません。本は心を豊かにしてくれるビタミンです。外出が制限されてストレスが溜まるときにこそ、たっぷり取るように心掛けましょう。

## ★ 2020 本屋大賞決定！



去る4月7日、全国の書店員が最も売りたい本を投票で選ぶ2020年本屋大賞が尻良(なぎら)ゆうさんの「流浪の月」(東京創元社)に決まりました。受賞作は誘拐事件の被害者とされた小学生の少女と加害者として断罪された男子大学生の「その後」を描いたもの。心に深い傷を抱えたまま大人となり再会した二人の姿を通して、世間からは理解されない痛切な真実を浮かび上がらせる…恋愛とも友情ともとれない複雑な関係性を描いた小説です。

作者の尻良さんは京都市在住。平成19年に本格的に作家デビューし、男性同士の恋愛を題材にしたBL小説で活躍。今回一般文芸で初の単行本となった「流浪の月」で見事「大賞」を射止めました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、無観客で行った発表会をインターネットで配信。尻良さんの「遠くで光っているお星さまのような大きな賞で今でも実感がない。家で過ごす人も多いと思うけど、そういうときは本を読んで欲しい」とのメッセージも紹介されていました。

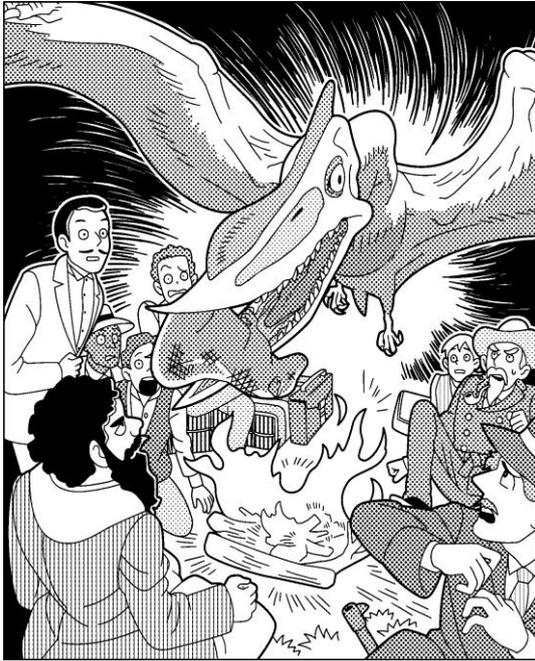
図書館では芥川賞・直木賞・本屋大賞・文藝賞・すばる新人賞など、各賞受賞作は積極的に置くようにしています。気になる作品は学校の図書館でも探してみてください！

# 『失われた世界』

## 文学まちがい探し

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください

探検隊の一行は、焚き火を囲んで夕食用にぶたに似た小動物を焼いていました。その時、突然何かが暗がりから飛んでくると、肉をくわえて去っていきました。なんとそれは、巨大な翼竜だったのです。



「名探偵コナン」でも馴染みのアーサー・コナン・ドイル。意外にも歴史小説「マイカ・クラーク」や「チャレンジャー教授」シリーズなど、SF小説も数多く手掛けています。この機会に彼のシャーロックホームズ以外の作品も読んでみてはいかがでしょうか？

### 『失われた世界』

アーサー・コナン・ドイル

二〇世紀の初め、古生物学者のチャレンジャー教授は、南米の奥地に恐竜などの絶滅した生物が生息していると主張して、世間からペテン師扱いされていました。ある日、その真偽を確かめるため、チャレンジャー教授を筆頭に、彼と敵対する教授や世界的な冒険家、新聞記者などで探検隊を結成。勇敢で個性的な彼らはアマゾンの奥地に踏み込みます。果たして、秘境で待ち受ける冒険の行方は!?

アーサー・コナン・ドイル

(一八五九〜一九三〇)は、名探偵「シャーロック・ホームズ」シリーズで有名な作家ですが、本作のようなSFや歴史小説なども書いています。

この小説の舞台の秘境は、南米のギアナ高地がモデルとのこと。当時発見されたこの土地から着想を得て、物語が生まれたそうです。

ドイルは、この作品によって推理小説だけではなく、『ジュラシック・パーク』のような「ロスト・ワールド物」と呼ばれるテーマの元祖として、SFの世界にも名を残しました。

※マイケル・クライトン 著 早川書房

間違い探しの正解は次回の図書館だよりに載せます☆